

人文地理学演習（5）

担当／米家志乃布 通称／歴史地理ゼミ

ゼミキーワード／現代から見る歴史、地図、場所イメージ、景観／風景、ツーリズム



ゼミのグループワークの様子（2019年度） BT1300 室

〈歴史地理ゼミ〉の特徴や活動内容

ゼミではArcGISでの地図作成やKHcoderなどのソフトを利用したデータ分析、Google スプレッドシートやmiroなどでの共同作業など様々なツールを使いながら、単なる事実の羅列や暗記ではない論理的な思考を養うことができます。社会人になっても役に立つ実践的な人文地理学の研究活動を行うことがゼミの目標です。

3年ゼミは「江戸東京の名所研究」を共通テーマとしてグループワークを行い、先行研究の読み方、史料読解、データの分析・考察、地図の作成方法を学びます。2018年度から法政大学江戸東京研究センターの江戸東京アトラスプロジェクトの活動として、法政大学の研究教育ブランディング事業に参加しています。**4年ゼミ**は個人で研究テーマを設定し、卒業論文を作成します。テーマの選定は学生に任されています。春学期は先行研究の整理や研究目的の設定、秋学期はデータの収集・分析・考察を行い、12月には下書きを提出して教員からチェックを受け、1月には本提出となります。ゼミ合宿は、3年ゼミは学生が希望する土地に赴き、その地域に関する研究論文を学習してから、実際にフィールドワークを行います。2020年度は横浜1日巡検でした。

過去の

●名所の分布と掲載画像からみる名所イメージの変遷 - 明治期京都の名所図会を事例として

卒業論文の

●東京都における映画ロケ地分布の地域的特徴と作品の描かれ方

論題例

●歴史的建造物とご当地グルメを活かした観光地の形成と課題 - 門司港レトロ地区を事例として

■**米家先生ってどんな先生？**■ 研究に対する情熱漲る米家先生は、明るく温厚で皆から慕われています。どうやら“飲んべえ”らしいのですが、状況が許さず、まだ一緒にお酒を飲めていません。真相やいかに……。いずれにせよ、「この先生の下で頑張ろう」と思える素晴らしい先生です！（ゼミ生 Tさん）